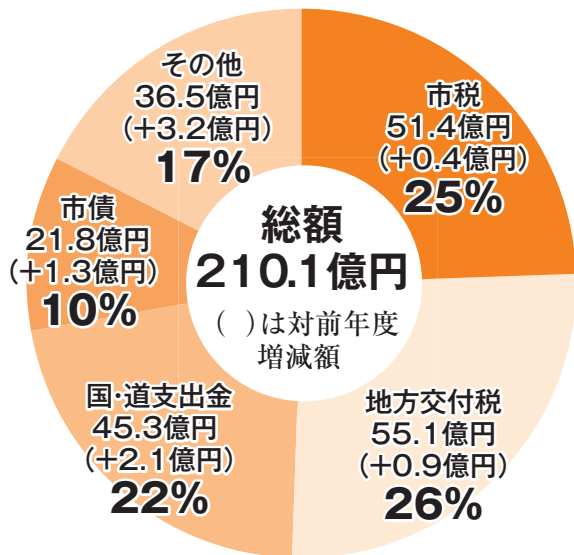


歳入 (収入)

国や道から交付される『地方交付税』と『国・道支出金』が収入の約半分を占めています。



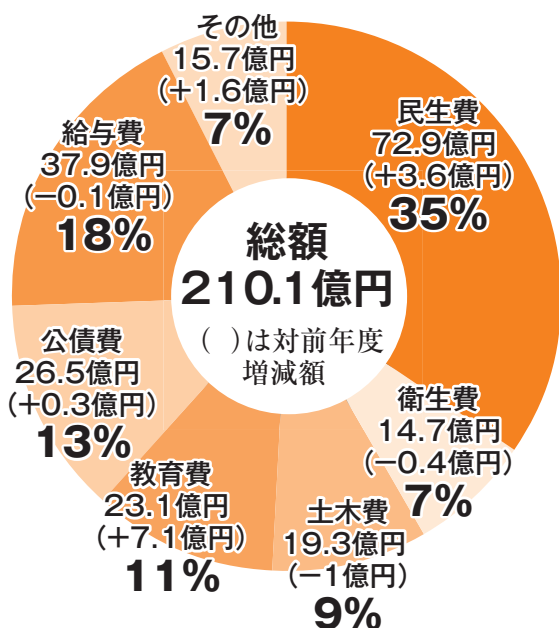
市税は、市民の皆さんからいただく安定的な収入です。財政運営上は、収入に占める市税の割合が高いことが望ましいとされていますが、登別市の市税の割合は他の自治体に比べて低く25%となっています。

また、地方消費税交付金が増加する見込みとなったことや基金からの繰入金を増やしたことなどから、その他の収入が大きく増加しています。

- 市税：市民税や固定資産税などのお金
- 地方交付税：人口や市税収入などに応じて国から交付されるお金
- 国・道支出金：特定の事業に対し国や道から交付されるお金
- 市債：市の借金
- その他の収入：公共施設の使用料やサービスの手数料、基金を取り崩したお金などが含まれています

歳出 (支出)

医療や福祉に使う『民生費』が支出の3割以上を、借金を返済するための『公債費』が約1割占めています。



教育費は、鷺別小学校校舎建替工事の大部分を行うことにより前年度に比べ大きく増加しています。

また、民生費は、北海道の補助金を活用し、地域密着型介護老人福祉施設を整備する事業者への助成を行うことなどにより増加しています。

- 民生費：医療や福祉などに使うお金
- 衛生費：市民の健康増進やごみ処理などに使うお金
- 土木費：道路や公園、市営住宅などの建設や維持管理に使うお金
- 教育費：学校の運営や校舎の建設などに使うお金
- 公債費：借金を返済するためのお金
- 給与費：職員に給料や退職金を支払うためのお金